

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～37
世 界 史	38～57	地 理	58～67
数 学	68～70		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。なお、以下の注意事項も参照すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

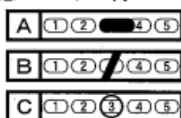
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

唐を滅ぼした は後梁を建て開封に都をおいた。以後五代の諸王朝は、後唐を除き、開封を都としている。960年に宋を建てた も引き続き開封を都とした。開封が都とされたのは と大運河の合流点にあるという経済重視の地理的な要因による。唐以前の代表的な都といえは長安と洛陽であるが、これらの都は王朝の威光をことさら内外に示すための壮大な都市であり、経済的というよりも政治的な視点が重視されていた。宋は契丹や西夏などの北方民族の圧迫を受け、防衛費は膨らみ国家財政の窮乏を招いたが、その反面、全国から税を集めて巨額の軍事費を補填する中央集権的な財政運営が、開封を中心とする全国的な物資の流通を盛んにした。結果として、開封の城内には市場や繁華街が至るところにできあがり、商業活動が活発になった。この開封の賑わいを描いた絵巻が である。しかし、開封の繁栄は12世紀の初めに遼を滅ぼした金の侵攻(1126～27、靖康の変)によって終焉をむかえ、開封陥落後に皇族の一部は江南に逃れ、 において南宋を建てることになった。

金はモンゴル帝国2代目ハンのオゴタイ率いるモンゴル軍の侵攻により滅亡し、モンゴル5代目ハンのフビライは中国侵攻の拠点として遼の南京、金の中都の地に巨大な中国式都城を建設した。この都を と称し、国号を元としたが、この が現在の北京の基礎になっている。元は中国の伝統的な官僚制度を採用したが、政策決定はモンゴル人が行い、これを補佐する財務官僚などには中央アジアや西アジア出身の と称される人々が重用された。また、ヨーロッパから を目指した人々も多かった。一方、江南に逃れ水上交通で繁栄を遂げた南宋も元によって滅ぼされた。しかし元の支配は長続きせず、14世紀には飢饉が続き、元の支配力が衰えると紅巾の乱を機に登場した がのちに と改称される都市を都として明を建て、元をモンゴル草原に駆逐して中国を統一した。 は三国時代の呉では建業、東晋南朝時代に

は [C] と称され、六朝貴族文化が花開いた都であった。また唐の滅亡後には南唐の都が置かれたが、⁽⁴⁾いずれも分裂期の都であり、明にいたって江南から初めて統一王朝が登場した。ところが、靖難の役に勝利した第3代の永楽帝は [I] の跡地である北平、すなわち北京に都を移し、以後、明・清を通じて北京に都がおかれた。

開封が東アジアに登場するのと時期をほぼ同じくして西アジアや東南アジアにも大都市が出現した。西アジアでは8世紀の半ばに [D] の西岸に円形の城壁都市バグダードが建設された。人口は150万に達したといわれ、イスラーム世界の政治・経済・文化の中心として繁栄したが、モンゴルの侵攻の後イスラーム世界における地位をカイロにゆずることになった。東南アジアでは、海岸や河川の交易ルート沿いに中継港や物産の積出し港を基点に港市国家が形成された。典型的な港市国家である扶南は7世紀に [E] 中流に建てられた [カ] 国家真臘の圧迫により滅亡した。その後、真臘は陸真臘と水真臘とに分裂したが9世紀には再び統一され、 [III] という巨大な都が築かれた。しかし、王朝の衰退とともにこの巨大都市は密林の中に埋没してしまった。

問1 文中の空欄 [ア] ~ [カ] に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1 クメール人 | 2 皇輿全覧図 | 3 色目人 | 4 朱元璋 |
| 5 朱全忠 | 6 女史箴図 | 7 清明上河図 | 8 石敬瑭 |
| 9 孫権 | 10 チャム人 | 11 趙匡胤 | 12 ベルベル人 |
| 13 モン人 | 14 楊広 | 15 李世民 | 16 劉知遠 |

問2 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | | |
|------------|---------|----------|
| 1 インダス川 | 2 ガンジス川 | 3 漢城 |
| 4 建康 | 5 黄河 | 6 広州 |
| 7 上海 | 8 成都 | 9 ティグリス川 |
| 10 ナイル川 | 11 武漢 | 12 メコン川 |
| 13 ユーフラテス川 | 14 洛河 | 15 臨安 |
| 16 淮河 | | |

問3 には同一の都市名が入る。 に入る都市名を漢字で解答欄に記入せよ。

問4 には同一の都市名が入る。 に入る都市名を漢字で解答欄に記入せよ。

問5 下線部(1)に関して、大運河沿いで長江の北岸に位置したことから唐代に水陸交通の要として発達した都市名を漢字で解答欄に記入せよ。

問6 下線部(2)に関して、長安と洛陽のいずれにも都をおいていない王朝を以下の中から二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| a 前漢 | b 後漢 | c 魏 | d 晋 |
| e 前秦 | f 北魏 | g 東魏 | h 西魏 |
| i 北周 | j 北齊 | k 隋 | l 唐 |

問7 下線部(2)に関して、唐の中期に長安と洛陽は安史の乱によって大きな被害を受けるが、その指導者である安禄山とはどのような人物か。以下の中より正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 数度科挙に落第し、任侠を好んだ塩の密売商人。
- b 辺境に置かれた募兵軍団の指揮官でソグド人。
- c 皇帝に取り入り宰相まで出世した愛妃の一族。
- d 宮中の実権を掌握し外戚と対立した宦官。

問8 下線部(3)に関して、空欄 の大司教に任ぜられ、中国最初のカトリック布教者となった人物は誰か。以下より一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a マリニョーリ
- b モンテ=コルヴィノ
- c ルブルック
- d フェルベースト

問9 下線部(4)に関して、六朝貴族文化に関する以下の組み合わせのうち正しくないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 王羲之—隸書を得意とし、楷書・行書・草書の書体を完成し、書聖と称される。
- b 顧愷之—人物画や道教思想の山水画を得意とし、画聖と称される。
- c 陶淵明—田園生活のなかで詩の創作を行った自然詩人。
- d 謝靈運—博学で学問を好んだ皇太子で、文学者を集め詩文集を編纂した。

問10 下線部(5)に関して、メコン川デルタにあって港市国家扶南の外港と考えられている遺跡の名前をカタカナで解答欄に記入せよ。

問11 には都市名が入る。 に入る都市名をカタカナで解答欄に記入せよ。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

太平洋には多くの島々が散在し、現在はそのほとんどが独立国を形成している。これら島々にくらす人びとは、自らの歴史をふりかえるとき、自分たちの祖先は紀元前に太平洋の島々に進出して以来、島で生活を営んできたこと、海は島々を隔てるのではなく、つなぐものであったこと、小さな島であるからこそ海の豊かさを活用する知恵を育み、海を大切にしてきたことを想起するという。しかし、16世紀にヨーロッパの人々が頻繁に往来するようになってから、海や島の豊かな産物が枯渇させられ、しかも海が島々を隔てる存在に変えられていった。

ヨーロッパ人の太平洋への到達は、16世紀に [1] と [2] がアメリカ大陸での勢力拡大や、航路開拓に競いあうなかで実現した。「太平洋」を最初に確認したのは [1] 人 [3] であり、「太平洋」という名称は、香辛料を産する [4] をめざし [1] の命を受けて航海した [2] 人 [5] が命名したものである。[5] は南アメリカの南端を通過し、のちにマリアナ諸島と名づけられる島嶼群のひとつグアム島に到達した。彼は困難を極めた航海を経験したのちに到達した海を、“El Mar Pacifico(太平洋)”と名付けたのであった。

17世紀、18世紀にはフランス、[6] も太平洋に進出を始める。[6] の航海者 [7] は、ニュージーランドやオーストラリアを踏査し、1778年にハワイに到達したが、その島民に殺害された。ハワイを含め、太平洋の島々には、ヨーロッパの交易船や捕鯨船が食糧や水を求めて、あるいは交易に有用な産物をもとめて頻繁に立ち寄るようになった。彼らはアルコールやタバコ、金属製品とともに、結核などの病気も持ち込んだ。また、新旧キリスト教の宣教師は、布教活動を通じて植民地における「文明化」の基盤を作った。「文明化」は、産業革命を経験したヨーロッパ社会で飛躍的に発展した諸学問分野によって支えられ、なかでも通信技術の発展は世界の諸地域を結びつけ、世界の一体化を促す原動力になった。

19世紀中には、太平洋の島々は諸列強により分割されつくし、国境で隔てられた島の人びとの往来は困難になった。しかし一方で、島々の植民地宗主国や宗主

国が支配する他の植民地から、大量かつ恒常的な人の往来が始まる。それは欧米諸国が太平洋の植民地でプランテーション経営を始めたことによる。たとえば [6] 領フィジー諸島では [X] のプランテーションに [Y] から大量の労働者が送り込まれた。ハワイでも白人が [X] のプランテーションを経営し、中国、日本、朝鮮半島、 [Y] などから移民が来島した。プランテーション経営では、狭小な島の土地が宗主国政府や白人の入植者に独占された。

問1 空欄 [1] ~ [7] に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | |
|------------|---------------|
| a アカプルコ | b アメリゴ＝ヴェスプッチ |
| c イギリス | d イタリア |
| e カブラル | f クック |
| g コルテス | h コロンブス |
| i サンサルバドル島 | j スペイン |
| k セイロン島 | l ソロモン諸島 |
| m ドイツ | n バルボア |
| o ピサロ | p フィリピン諸島 |
| q フランス | r ベルギー |
| s ポルトガル | t マカオ |
| u マゼラン | v マダガスカル島 |
| w マニラ | x モルッカ諸島 |

問2 下線部(1)に関連して、つぎの問いに答えよ。

① グアム島は米西(アメリカ=スペイン)戦争でスペイン領からアメリカ領となった。米西戦争の起こった年をつぎの a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

a 1812年 b 1819年 c 1861年 d 1898年

② 米西戦争について説明したつぎの文章のうち正しくないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

a キューバのスペインからの独立運動を理由としてアメリカが干渉したことが発端となった。

b 共和党のセオドア=ローズヴェルト大統領のもとで戦われた。

c バリで講和条約が結ばれた。

d 戦争の結果、アメリカはグアム島とともにフィリピン、プエルトリコも領有した。

問3 下線部(2)に関連して、つぎの文の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

オーストラリア大陸、ニュージーランド、そして太平洋に点在する島は合わせてオセアニアとも呼ばれる。太平洋はつぎのように三つの地域にも区分され、それぞれヨーロッパ人から命名された。すなわち、フィジー、ニューカレドニアやソロモン諸島を含む太平洋南西部の地域は 、南はニュージーランド、東はイースター島、西はハワイを結ぶ線で囲まれた地域は 、マリアナ諸島、カロリン諸島、ギルバート諸島などを含む赤道を南北にはさむ地域は である。この三つの地域の島に居住する人々は言語をもとにした分類では 語族である。

[語群]

- | | | | | | |
|---|----------|---|---------|---|----------|
| a | アフロ＝アジア | b | アルタイ | c | オーストロアジア |
| d | オーストロネシア | e | シナ＝チベット | f | ポリネシア |
| g | ミクロネシア | h | メラネシア | | |

問4 下線部(3)に関連して、つぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ダーウィンは、進化論が自然科学の分野をこえて論争を巻き起こしたため、進化論を発展させて社会進化論を唱えた。
- b メンデルは、遺伝に関する諸法則を発見すると同時に、実験を通じて遺伝子の染色法も開発した。
- c リストは、経済の発展段階説に基づく国民経済学を提唱し、経済的に後進国であるドイツが保護貿易主義を用いるべきだと主張した。
- d ナポレオン戦争後にドイツの法学者サヴィニーは、法は民族を超えて普遍的であるべきと主張した。

問5 下線部(4)に関連して、つぎの文の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

長短2種の組み合わせによって文字を表す信号を考案したアメリカの は、 機を発明し、自らが実現させたボルティモア・ワシントン間の通信に象徴されるような地上における遠隔地間のコミュニケーションを可能にした。さらに大西洋横断ケーブルの敷設や、イタリアのマルコーニが発明した により、ヨーロッパとアメリカの人びとが短時間のうちに情報を共有できるようになった。そして、アメリカの が開発した磁石式の 機は、遠距離間のコミュニケーションにさらに変化をもたらし、 自身が 会社を設立してその普及に努めた。以上のような通信技術開発の基礎には、 による電磁気学の発展があった。

〔語群〕

- | | | |
|----------|---------|--------|
| a エジソン | b デジタル | c 電気 |
| d 電信 | e 電灯 | f 電話 |
| g ノーベル | h ファラデー | i ベル |
| j ヘルムホルツ | k 無線電信 | l モールス |

問6 下線部(5)に関連して、つぎの問いに答えよ。

① 太平洋分割にあたっては、アフリカ大陸のある地域の領有をめぐる紛争調停のために開催された会議で合意された原則が用いられた。調停の対象となった地域名をつぎのa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a トランスヴァール
- b 南アフリカ
- c コンゴ
- d アルジェリア

② ①の会議について説明したつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ビスマルクの提唱により開催され、エジプトにおけるイギリスの支配的地位とモロッコにおけるフランスの支配的地位を相互に認め合った。
- b ビスマルクの提唱により1878年に開催され、アフリカ分割をめぐるイギリスとフランスの利害対立が調停された。
- c ある地域の植民地化にあたっては、その地域を最初に占領した国が領有できるという原則が確認された。
- d ある地域の植民地化にあたっては、占領した順序に関係なく、経済活動による利益がもっとも大きい国に領有を認めるという原則を確認した。

問7 空欄 は、フランス領西インド諸島と北アメリカとの間で行われていた密貿易を取り締まるために の議会で1764年に制定された法律の対象となった産物である。その産物名をつぎのa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a カカオ
- b コーヒー
- c 砂糖
- d 白檀

問8 空欄 は、宗主国 によってマレー半島の茶・ゴム農園などにも労働者が送出された地域である。その地域名をつぎの a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ナイジェリア
- b エジプト
- c インド
- d ビルマ

問9 下線部(A)に関連して、太平洋の島々について述べたつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1951年にニュージーランド、オーストラリアとともに太平洋安全保障条約を締結した。
- b 1971年にニュージーランド、オーストラリアとともに南太平洋フォーラムを結成した。
- c 1989年にニュージーランド、オーストラリアとともにアジア太平洋経済協力会議を創設した。
- d 1995年にニュージーランド、オーストラリアとともに世界貿易機関を設立する際の原加盟国となった。

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

記念碑は、歴史上の重大な出来事や個人あるいは集団の業績を記念するために、世界史上のさまざまな時代、さまざまな地域において建設されてきた。現在も世界各地でその多くを目にすることができる。

古代エジプトでは、とくに新王国時代にオベリスクという柱状の石碑が盛んに建設された。これらは太陽神 ⁽¹⁾ A を讃える神殿の装飾の一部として造られ、その多くは後にエジプトを征服したローマ帝国によってヨーロッパへと運ばれた。そのローマ時代には、円柱や凱旋門、騎馬像、神殿風の建築物など、記念碑の形状の主要なものがすべて出現している。多くは皇帝の事績を顕彰するためのもので、ローマにある、帝国の最大版図を達成した皇帝の記念柱などが有名である。

ヨーロッパでは中世のあいだは独立した大規模な記念碑が建設されることは稀で、都市においては公共建築がその都市の象徴としての役割を担うことが多かった。その都市で一番大きなキリスト教の教会のほか、たとえばフィレンツェなどイタリアの B に代表される自治権を持つ都市では市庁舎が、またヘント、ブリュージュなど中世初期に発展したフランドル地方の都市では鐘楼が重要な役割を果たしていたことが知られている。⁽²⁾⁽³⁾

ヨーロッパで記念碑建設が盛んになるのは、絶対主義の時代からである。この時代、強力な権力を手中にした君主は、自らの権力を誇示するべく首都をはじめとする領内の都市の改造をおこない、その際、広場や目立つ場所に記念碑を建設した。その最も早い例が、教皇の支配したローマである。C を克服し⁽⁴⁾強化された教皇権のもと16世紀後半から17世紀にかけて進められたローマの都市改造では、エジプトから持ち込まれていたオベリスクが再利用され、市内の要所に建てられるなどした。このほか、フランス王国の首都パリでは、ブルボン朝の歴代の国王の手で改造がおこなわれ、新しく整備された都市施設には国王の騎馬像が設置されることが多かった。たとえばチュイルリー庭園前に1755年から76年にかけて建設されたルイ15世広場には、ルイ15世の騎馬像が設置された。⁽⁵⁾

また、記念碑は、その建てられた場所にまつわる事件を記念するために設置されることもあった。たとえば、イギリスの首都ロンドンでは、市街の5分の4を

焼いた大火を記念するため、高さ61メートルにおよぶ円柱状の記念碑が1677年に
出火地点の近くに建設された。また、ハプスブルク帝国⁽⁶⁾の首都ウィーンでは、ペ
ストの流行の終結を記念して1679年に記念柱が市内中心部のグラーベンに建てら
れている。

記念碑のあり方は、フランス革命によって大きく変化した。フランス革命時の
パリでは、以前からあった国王の騎馬像は撤去されたり、新しいものに置き換え
られた。前述のルイ15世広場は革命広場と改名されて刑場として用いられ(現在の
コンコルド広場)、国王ルイ16世やその妃 **D** が処刑された。革命以後
新たに建てられた記念碑は、国民の国家への帰属意識を高め、結束を強化する役
割を負うようになる。記念碑はナショナリズムを強化し、大衆を国民化するため
の重要な道具となったのである。その典型が、パリのエトワール凱旋門である。
その壁面には、フランス革命からナポレオン戦争終結に至る諸局面⁽⁸⁾をかたどった
巨大なレリーフが設置されている。⁽⁹⁾ そのほかにもパリ廃兵院にナポレオン1世の
棺が安置されたり、もとはキリスト教会として建てられたパンテオンがフランス
の偉人を祀る場所とされるなど、公共建築の形でも国民的記念碑の建設が進んだ。

19世紀の諸国家は、こうした国民統合を意図した記念碑を盛んに建設した。と
くに、イギリス植民地から独立を達成した新しい国家であるアメリカ合衆国や、
遅れて国民国家統一を達成したドイツではそうした例が多い。アメリカ合衆国の
首都ワシントンのナショナル・モール⁽¹⁰⁾には、建国やその後の歴史的事件を記念す
る記念碑が広大な敷地内に集められている。また、国家や国民の起源や伝統を過
去にさかのぼって新たに創造し、それを記念碑の形で可視化することが試みられ
た。さらに、記念碑の対象となる人物も、君主や政治家だけではなく芸術家や創
作上の人物、さらに自然や風景などにまで広げられていった。ドイツでは、13世
紀半ばに着工されたものの未完成のまま放置されていたケルン大聖堂⁽¹¹⁾がドイツの
文化的統一のシンボルとして工事が再開され、ドイツ統一を導いた諸戦争⁽¹²⁾を記念
する巨大な勝利記念柱が首都ベルリンに建設されたほか、古代ゲルマンの英雄ア
ルミニウスや皇帝権力の強化に努めた中世の皇帝 **E** を記念するものなど
が各地に建てられた。

20世紀に入ると記念碑はさらに新たな発展を遂げた。破壊と犠牲の規模の圧倒

的な拡大と、前線と銃後の差なく全国民が動員される総力戦の出現をうけて、戦争の悲惨さを記録し、犠牲者を追悼するという機能が加わったのである。そのため、それまでのように英雄をかたどるのではなく無名の一兵士を表象する外形をとったり、戦没兵士の集合墓地に設置されるなど墓標としての性格をもつ記念碑が作られるようになった。前述のエトワール凱旋門の下にもこうした施設が設けられている。さらに、20世紀後半になると、 的支配体制を持つ国々が世界各地に出現して侵略戦争をおこなったり、敵対する人びとを迫害したりしたことを踏まえ、そうした体制を批判的に記念したり、ユダヤ人など迫害を受けたマイノリティを追悼するための施設もつくられるようになった。後者のための代表的な記念碑としては、2008年にベルリンに完成した「虐殺されたヨーロッパユダヤ人のための記念碑」⁽¹³⁾が挙げられる。記念碑は、過ぎ去った歴史の教訓を長く記憶にとどめ、現在を反省するための手段となったのである。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つずつ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 アトン | 2 一国社会主義 |
| 3 教会大分裂 | 4 自治州 |
| 5 ジョゼフィーヌ | 6 叙任権闘争 |
| 7 宗教改革 | 8 戦時共産主義 |
| 9 スフィンクス | 10 全体主義 |
| 11 都市共和国 | 12 都市同盟 |
| 13 ハインリヒ4世 | 14 フリードリヒ1世 |
| 15 フリードリヒ2世 | 16 マリ=アントワネット |
| 17 マリ=ルイーゼ | 18 ラー |

問2 下線部(1)について。エジプト新王国について述べた以下の文のうち、正しいものを一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 この王朝は、ギザに巨大なピラミッドを建設した。
- 2 第19王朝の王ラメス2世は、ヒクソスと戦った。
- 3 アメンホテプ4世は、都市テル=エル=アマルナを建設し、そこを首都とした。
- 4 「海の民」の侵入・略奪を受け、滅亡した。

問3 下線部(2)について。この皇帝が遠征を行い、ドナウ北方に設置した属州の名称を解答欄に記入せよ。

問4 下線部(3)について。中世のフランドル地方を代表する商品は何か、解答欄に記入せよ。

問5 下線部(4)について。16～17世紀の時期の教皇およびカトリック教会について述べた以下の文のうち、正しくないものを一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 イグナティウス=ロヨラらは、イエズス会を結成し、海外への布教活動に従事した。
- 2 フランス王の圧力で教皇庁は一時南フランスのアヴィニョンに移された。
- 3 教皇の至上権をはじめとするカトリックの教義を再確認するため、トリエント公会議が開催され、対抗宗教改革を推進した。
- 4 歴代の教皇は、ラファエロやミケランジェロをはじめルネサンスの代表的な芸術家をつぎつぎに雇い、さまざまな傑作を作らせた。

問6 下線部(5)について。ブルボン朝の歴代国王について述べた以下の文のうち、正しいものを一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 ブルボン朝の創始者アンリ4世は、ユグノー戦争後の混乱を鎮めるため、カトリックに改宗し、ナントの勅令を発してユグノーを禁止した。
- 2 ルイ13世の宰相リシュリューは、貴族の勢力をおさえ王権の伸張をはかったが、かえって貴族の反発を招き、彼の政策に反対するフロンドの乱がおきた。
- 3 宰相マザランは幼いルイ14世を補佐して三十年戦争に介入し、プロテスタント側のスウェーデン国王グスタフ＝アドルフを援助した。
- 4 ルイ16世は、先王ルイ15世の治世下で深刻化した国家財政難を克服するため、テュルゴを登用し自由主義的な改革をおこなわせた。

問7 下線部(6)について。この記念碑が設立された当時のイギリスでは、宗教的な問題を中心に国王と議会のあいだの対立が深まっていた。17世紀後半にイギリス議会で成立した以下の法律のうち、国王と議会の対立に直接関係しないものをすべて選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|-------|---------|
| 1 航海法 | 2 審査法 | 3 人身保護法 |
| 4 権利の章典 | 5 寛容法 | |

問8 下線部(7)について。17世紀後半のハプスブルク帝国をめぐる状況について述べた以下の文のうち、正しくないものを一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 オスマン軍によりウィーンを包囲されたが、キリスト教諸国の援軍を得て撃退した。
- 2 ウェストファリア条約以後もネーデルラントやライン左岸に領土拡張を狙うフランスに対し、他の諸国とともに防衛に努めた。
- 3 女帝と称されるマリア＝テレジアはフランスの啓蒙思想家ヴォルテールと文通した啓蒙専制君主であった。
- 4 すでに保有していたボヘミア王国だけでなく、オスマンとの戦いでハンガリーの大部分を獲得し、複合民族国家としての性格を強めた。

問9 下線部(8)について。この記念碑は、ナポレオン率いるフランス軍がロシア＝オーストリア連合軍に対して重大な勝利を収めたことがきっかけとなって建設された。その戦いの名前を解答欄に記入せよ。

問10 下線部(9)について。フランス革命からナポレオン戦争の時期のヨーロッパにおけるナショナリズムに関する以下の文のうち、正しくないものをすべて選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 フランス革命に対する諸外国の介入に対抗して集まった義勇軍が歌った愛国歌「ラ＝マルセイユーズ」は、やがてフランスの国歌となった。
- 2 スペインでは、ナポレオンの兄ジョゼフが国王となったことから、フランスの支配に対して農民を中心とした民衆によるゲリラ戦が展開された。
- 3 イタリアでは、独立と統一を求めて青年イタリアが結成された。
- 4 ナポレオン支配下のドイツでは、哲学者フィヒテが「ドイツ国民に告ぐ」を發表して、軍備の増強による国民意識の覚醒を訴えた。
- 5 18世紀末に分割され消滅したポーランドは、独立回復を求めてコシユシコなどが運動を続けていたが、ナポレオンはワルシャワ大公国としてその一部を復活させた。

問11 下線部(10)について。ワシントンのナショナル・モールに存在する記念碑で
顕彰されている人物に関する以下の文のうち、正しいものを一つ選び、その
数字を解答欄にマークせよ。

- 1 初代大統領ワシントンは「ピルグリム＝ファーザーズ」と呼ばれたヴァー
ジニアの富裕な入植者のひとりであった。
- 2 第3代大統領ジェファソンは、連邦制の強化には反対していたが、ナポ
レオンと交渉し、新たな領土としてミシシッピ川以西のルイジアナを購入
した。
- 3 ケンタッキーの貧農の出身だったリンカンは、奴隷制反対と自由貿易推
進を唱えて北部の資本家や西部の農民たちの支持を獲得し、大統領選挙に
当選した。
- 4 南北戦争では南軍の総司令官だったグラント將軍は、戦争終結後ワシ
ントン大学の学長になった。

問12 下線部(11)について。この大聖堂はなんという建築様式で建設されているか、
解答欄に記入せよ。

問13 下線部(2)について。ドイツ統一のための諸戦争に関する以下の文章のうち、正しくないものをすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- 1 ドイツ連邦はそれぞれ主権を認められた35の君主国と4の自由都市からなっていたが、オーストリア帝国やプロイセン王国はその所領の一部のみが属しているにすぎなかった。
- 2 デンマーク王が死去すると、その混乱に乗じてプロイセンはオーストリアを誘ってデンマークと開戦し、デンマークの主権下にあったシュレスヴィヒとホルシュタインの両公国を占領した。
- 3 プロイセン＝オーストリア戦争の結果、勝利したプロイセンを中心とするライン同盟が成立し、敗北したオーストリアは国内の動揺を抑えるため、ハンガリー王国と合併してオーストリア＝ハンガリー帝国となった。
- 4 プロイセンのすすめるドイツ統一に反対するフランスは、プロイセン首相ビスマルクの挑発に乗って開戦したが、かえって惨敗を喫した。しかし、これをきっかけに国内にはドイツへの復讐心が高まった。
- 5 ドイツ帝国の成立はヨーロッパ列強の勢力地図を書きかえる大事件であったが、イギリスは「光栄ある孤立」を守って干渉しなかった。

問14 下線部(3)について。この記念碑が追悼する対象となっている、ヨーロッパ各地でナチスがユダヤ人を計画的に虐殺した事件を一般に何と呼ぶか、解答欄に記入せよ。